



菊武学園フラッシュニュース

高木理事長 育達式典に参列 台北国際マラソン完走で祝う



(式典で祝辞を述べる)



(マラソンに挑む高木理事長)

高木理事長は「70周年おめでとうございます。今後も育達と菊華の結び付きを深めていきたい」と祝辞を述べました。

式典に先立つ15日、高木弘恵理事長は、台北市で一番高い101ビル(509.2m)を発着地点に市内を一巡するコースに、2万8000人が参加した台北国際マラソンに挑戦しました。

高木理事長は5時間25分で走破し、完走賞のメダルを獲得。式典で、大勢の参列者に「完走の勢いを糧に交流を深めていきます」と挨拶し、大きな拍手をうけていました。

介護の日に高齢者と交流 映画鑑賞や小物づくりで



「介護の日」にちなみ名古屋経営短期大学健康福祉学科1、2年生62名は11月7日、尾張旭市稲葉町の「多世代交流館いきいき」で、健康福祉教育概論の一環として地元の高齢者と交流の輪を広げました。

神奈川県藤沢市の豊かな生活を送れることで評判の介護施設の記録映画「僕とケニアンとおばちゃんたち」を鑑賞。さらに小物作り、学生が作ったクッキー販売、マッサージの三つのコーナーで、学生たちがお年寄りの支援に奮闘し、理解を深めました。

学校法人菊武学園の高木弘恵理事長と菊華高校の山岸鳴門校長は12月16日、姉妹校の「台北市私立育達高級商業家事職業学校」(育達高校、王育豊理事長)の創立70周年式典に参列しました。

式典には海外姉妹校などの来賓100名、在校生ら100名らが出席し、開かれました。

式典には海外姉妹校などの来賓100名、在校生ら100名らが出席し、開かれました。

学生に震災と減災講義 南三陸町の阿部さん



(若者に災害時での減災行動の大切さを訴える)



(阿部センター長)

三陸復興観光コンシェルジュの阿部寛行センター長が12月10日、名古屋産業大学の現代ビジネス概論Ⅱで、「震災と防災」をテーマに自らの経験を交えて約150名の学生に講義しました。

阿部センター長は、東日本大震災で犠牲者840名が出た宮城県南三陸町で、復興活動を展開。2019年3月に名産大・名古屋経営短期大学学生の「東北ボランティア」には、三陸町の「海に見える命の森」で、犠牲者と同じ数の桜の苗木を植樹するイベントを指導しました。

講義では、近い将来大きな被害が予想される南海トラフ地震が起きた際には、若い人たちが減災の行動を起こす大切さを強調しました。

東海選抜に初めて選出 名産大サッカー部 金子選手



名古屋産業大学サッカー部の金子力也選手(1年)が12月初旬、第3回全日本大学新人戦に出場するU-20東海選抜のメンバーに選ばれました。

全国選抜12チームでの勝ち抜き戦で、フル出場し3位の好成績を上げました。東海選抜は、東海4県の20歳以下の選手の中から、将来有望な24選手を選出。東海2部リーグから指名されたのは、金子選手だけでした。金子選手は菊華高時代からサッカーに打ち込み、身長192cmの高い身体能力で活躍しています。

名産大サッカー部1部昇格 ～森尾張旭市長を表敬訪問・報告～



東海学生サッカー2部リーグで優勝、1部リーグ入りを果たした名古屋産業大学サッカー部の小崎峰利監督、斎藤拓斗主将は11月22日、尾張旭市役所に森和実市長(右から2人目)を表敬訪問し、優勝報告をしました。

人にやさしい街へアイデア 名産大環境フォーラム

「人にやさしいまちづくり」をテーマに第19回環境フォーラム(名古屋産業大学主催、尾張旭市共催)が12月14日、名産大文化センター大ホールで、市民や学生ら約70名が参加して開かれました。

障害者、高齢者が安心、安全に生活できる都市環境をサブテーマに、みんなで考えようというのが狙い。人工

呼吸器をつけ車いすのNPO法人ピース・トレランスの押富敏恵代表理事が、誰もが参加できる「ごちゃまぜ運動会」を開いた体験を織り交ぜて講演。また、難聴の障害を乗り越え尾張旭市内でラーメン店を営む椎島剛さんが、障害を個性として理解することの大切さを訴えました。

名古屋経営短期大学の学生が、街のバリアフリーの実態を報告、別の学生グループは、認知症の人たちとの接し方を劇で紹介し、名産大の丸岡稔典講師が、合理的配慮に触れ、やさしいまちづくりの方向性をまとめました。

台湾の環境教育を研究 名産大院生に奨励賞

名古屋産業大学大学院後期課程で学ぶ許容瑜さんの研究が2019年度の栄えある第15回環境教育研究・実践奨励賞を受賞しました。



(人にやさしい街づくりを話し合う)



(学生が認知症の対応を劇で紹介)



(車いすの障害者が体験を語る)



(台湾の高校で研究する許さん)

35歳以下の研究者らが対象で、受賞対象は、「環境教育法施行後の台湾における学校環境教育の評価」。2019年夏の日本環境教育学会年次大会で発表し、注目されました。

許さんは、台湾の育達科技大学の4年次に名産大への交換留学を経験。その後、大学院環境マネジメント研究科に進学。伊藤雅一教授、岡村聖教授の指導を受け実証的な研究を進めてきました。